



川内小学校だより

# ゆずり葉

第4号 令和7年6月26日



## 子どもたちがエージェンシーを 発揮できるよりよい環境をつくる！

未曾有の自然災害や新型ウィルスの流行、急速なAIの発達等、今の子どもたちは先行き不透明な世の中を思考・判断・表現しながら協力し合って生き抜いていかなければなりません。

前号では、子どもたちがエージェンシーを発揮できるようにするための取り組みを紹介しましたが、今号では子どもたちがエージェンシーを発揮するため、私たち大人がどんなことに配慮していけば良いのかについて考えていきたいと思います。

### 今後、求められる人物像

今後、不本意なことが起きても、自分で決めて、自分から動き、切り拓いていく、そして周囲のみんなも幸せにできる、そんな行動がとれる人が求められています！

### 群馬の教育の最上位目標のキーワードは、「エージェンシー」

エージェンシーとは

「人が誰しも生まれついて持っている自分と社会をより良くしようと願う意思、原動力」  
「自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す力」

#### (1) エージェンシーを発揮している子どもの姿とは

- ・新しい物事にも、前向きに取り組む子
- ・他者を尊重し、仲良くできる子
- ・失敗してもあきらめない子
- ・仲間と対話や交流を図りながら、問題を解決する子
- ・生活の中から課題に気づき、改善しようとする子 など

#### (2) 子どもたちが、「エージェンシー」を発揮するために、大人は・・・、

- ① 子どもたちに教えるべきことは教え、子どもたちに任せるべきことは任せる。  
大人がしゃべりすぎない。
- ② 「失敗をしてもよい」「まちがってもよい」「まちがったら、もう一度やり直せばよい」ということを子どもに教える。
- ③ 子どもたちの自己決定を待ち、自ら動き始めることを待ち、挑戦したことを認め、失敗を受容し、成長を見守る。
- ④ 良かれとの思いから、子どもが失敗しないように大人が先回りしない。
- ⑤ 子どもたちを信じて、発達段階に応じて子どもたちに試行錯誤させる。
- ⑥ 毎日の生活の中で、「自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す」場面をこれまで以上につくる。
- ⑦ 大人も、「エージェンシー」を発揮して手本を示す。

## 最近の全校朝会から



『ホタルの光をつなぐもの』福音館  
文 福岡伸一 絵 五十嵐大介

### 絵本『ホタルの光をつなぐもの』の 読み聞かせをしました。

5月27日(火) 用務員さんが体育館のステージいっぱい貼ってくれたスクリーンに絵本を映し出し、絵本「ホタルの光をつなぐもの」の読み聞かせをしました。このお話は女の子とそのお父さんが水辺を歩き、ホタルの幼虫を見つけるところから始まります。「ホタルの幼虫を家で育てて、光るホタルになるのを見てみたい。ホタルの幼虫は何を食べるの?」と聞く女の子に対し、お父さんはすぐに答えを言わずに、「もう一度水の中を見てごらん。」と実際に観察することを促します。お父さんの姿勢から、女の子は自分の目で観察し、自分の頭で考えることから様々なことを発見していきます。しかし、月日が経ち、このホタルのいた小川も、コンクリートの川になり、ホタルがいなくなってしまうようです・・・。

実際、私たちの身近にある山田川も以前、ホタルが少なくなってしまった時期があるそうです。しかし、地域の方々の努力で今、大変多くのホタルが見られることは本当に幸せなことだと思います。

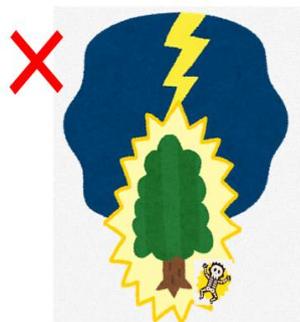
## 川内小のホタル学習

今、川内小学校では3年生の総合的な学習の時間の中で、ホタルの卵から幼虫に孵し、それを山田川に放流する活動を行っています。

そして、今年度から5年生も山田川の水質調査を行う学習をするようになりました。5年生は6月19日(木)に山田川で水質調査をしました。山田川は様々な生物がいて、とてもきれいだったそうです。また、5年生は梅田へ宿泊学習に行った時も、桐生川の上流の水質調査をしましたが、そこは、山田川よりもさらに水質がきれいだったそうです。しかし、山田川よりきれいな桐生川の上流にはホタルがおらず、なぜ山田川にホタルがいるのか不思議に思ったそうです。この学習、これからどうつながっていくか楽しみです。



## 子どもたちへの雷についての安全教育



最近、天気が急変して雷雲が発生しやすくなりました。特に、来週はほとんどの日に雷雲が発生することが予想されています。学校でも気象情報等に注視し、子どもたちの安全を守っていきますが、休日や登下校時等に天気が急変する可能性も十分考えられます。子供たち自身が、自分の安全を守るための知識や判断力を身に付けることがとても重要です。

そこで、昨年に引き続き、6月24日(火)の全校朝会で、低学年でも分かりやすいよう〇×クイズとして問題を出して雷について考えました。子供たちは、広いところや高いところ、自分より高いものを持っているときに雷が

落ちやすいということを大変よく理解していました。また、高い木の下や家の軒下なども危険だということも理解できていました。

実際、雷が鳴ってもすぐに家の中や車の中に避難するなど、安全な行動がとれることを願っています。

